

【別紙5 電子カルテ関連システム (4) 麻酔記録システム機能一覧】

項番	大分類	中分類	小分類	要求仕様
1	麻酔記録システム	画面起動		画面起動
1-1	麻酔記録システム	画面起動	麻酔記録画面起動	特定の患者カルテ画面を表示した状態からの起動患者個人の手術予定のみが表示された麻酔記録の一覧が起動でき、そこから麻酔記録画面が起動できること。
1-2	麻酔記録システム	画面起動	麻酔記録画面起動	特定の患者カルテ画面を表示していない状態からの起動麻酔記録の一覧に、当日の実施前・実施中・実施済の手術予定が表示されており、そこから麻酔記録画面が起動できること。
1-3	麻酔記録システム	画面起動	麻酔記録画面起動	利用者権限により、スーパーユーザ、更新可、参照、利用不可の切り分けが可能であること。
2	麻酔記録システム	麻酔チャート		麻酔チャート
2-1	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	画面サイズはFullHD[1920×1080]に対応可能であること。
2-2	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	メイン画面は、患者属性、チャート（時系列タイトル・データ）、イベント・記録入力ランチャー、非時系列情報から構成されており、全体状況の把握がしやすい画面レイアウトであること。
2-3	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	チャート（時系列タイトル・データ）の画面は以下のエリアから構成されていること。酸素・ガス、注射薬剤、呼吸、血液ガス、モニタ数値情報、バイタルグラフ、イベント、体位、輸液、輸血、O ₂ （尿・出血など）
2-4	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	非時系列情報の画面は以下の情報が網羅されていること。手術予定情報、IN/OUT合計、入室退室/麻酔開始終了/手術開始終了時間、手術情報、血液製剤情報、リマックス(タイムライン)。
2-5	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	一画面に表示する際の時間間隔は、30分、1～6・8・10・12時間の時間幅から選択し、切替え可能であること。
2-6	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	全ての表示時間幅の場合にて、トレンド情報、イベント情報、リマックス情報、薬剤投与情報、体位/ライン情報は、各情報の記録時間をもとに時系列が把握可能な表示機能を有すること。
2-7	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	バイタルグラフに表示するパラメータの種類・スケール・プロット間隔は、術中においても任意に選択する機能を有すること。
2-8	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	必要に応じて一部メニューを非表示とすることも可能で、チャート（時系列タイトル・データ）が画面幅を変更し表示可能であること。
2-9	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	時系列データエリアでマウスを移動させた場合、マウスの軌跡に合わせ、画面上にて縦横十字線が追従する機能を有すること。この線は、縦線のみ・横線のみ・非表示へ切替え可能であること。
2-10	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	患者情報は、ID・カナ氏名 年齢・性別 生年月日 血液型 身長・体重・BMI・体表面積・感染症情報・手術申込診療科・手術申込病棟を自動表示可能であること。
2-11	麻酔記録システム	麻酔チャート	画面構成・表示	関連付けられた手術予約の情報から、病名、術式、術者、麻酔医、看護師などの職員情報が取込まれ、対応する入力項目に自動表示可能であること。
3	麻酔記録システム	チャート記録		麻酔チャート
3-1	麻酔記録システム	チャート記録	共通	継続性のある酸素・ガス、注射薬剤、輸液、輸血などの時系列情報については、開始入力（速度、濃度など）を行うことで継続線が現在時刻まで自動で描画され、終了入力を行うことで継続線が停止する機能を有すること。
3-2	麻酔記録システム	チャート記録	共通	タイトルが決定済の行に関しては、時系列上の入力したい場所をクリックすることで、その位置から時間を特定し、流量や濃度などの数値入力が可能であること。
3-3	麻酔記録システム	チャート記録	酸素・ガス	酸素・ガス情報に関して、酸素、空気、笑気をマスタより選択可能とし、選択した項目のみがタイトル表示可能であること。
3-4	麻酔記録システム	チャート記録	酸素・ガス	酸素・ガスの選択については、予めセット化する機能を有すること。また、セット選択時に、その中から任意の酸素・ガス項目を選択対象外とする機能を有すること。
3-5	麻酔記録システム	チャート記録	酸素・ガス	酸素・ガスに関して、入力された流量や、開始/終了時間をもとに、トータル量を自動計算する機能を有すること。
3-6	麻酔記録システム	チャート記録	酸素・ガス	麻酔チャートの確定保存タイミングで入力整合性チェックをおこない、終了入力していない場合は、入力者へ通知する機能を有すること。
3-7	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	注射薬剤に関して、薬効分類別のマスタ階層画面より薬品選択が可能であること。
3-8	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	注射薬剤の選択については、予め複数薬品セット化する機能を有すること。また、セット選択時に、その中から任意の注射・薬剤項目を選択対象外とする機能を有すること。
3-9	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	薬剤ごとに、タイトル文字色をマスタ設定可能であること。
3-10	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	選択した注射薬剤に対するデータ入力は、マスタの設定に応じて持続/ポーズでの入力形式が選択可能であること。
3-11	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	注射薬剤のデータ入力に関して、希釈した薬剤の入力にも対応し、入力された速度やγ値と開始/終了時間から、投与量の合計値が自動計算可能であること。
3-12	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	セボフルラン・フォーレン・デスフルランなどは入力された酸素・ガスの流量に対する濃度、開始/終了時間をもとに、トータル量を自動計算する機能を有すること。
3-13	麻酔記録システム	チャート記録	注射・薬剤	麻酔チャートの確定保存タイミングで入力整合性チェックをおこない、持続で記録している注射・薬剤で終了入力していない場合は、入力者へ通知する機能を有すること。
3-14	麻酔記録システム	チャート記録	呼吸	呼吸方法の入力、および呼吸方法の時系列表示が可能であり、また呼吸器の設定値入力が、変更タイミングごとに可能であること。
3-15	麻酔記録システム	チャート記録	血液ガス分析検査	血液ガス分析の結果入力が時系列画面で可能であり、登録された結果は時系列での数値確認が可能であること。

3-16	麻酔記録システム	チャート記録	バイタル	バイタルグラフ以外のモニタデータや、麻酔器の情報に関する数値の時系列入力が可能であること。
3-17	麻酔記録システム	チャート記録	バイタル	血圧や心拍数などを時系列でデータ入力することにより、グラフ表示可能であること。
3-18	麻酔記録システム	チャート記録	バイタル	モニタデータに関して、マスタ設定にてグラフ表示と数値データ表示の設定が可能であること。
3-19	麻酔記録システム	チャート記録	バイタル	バイタルグラフ表示の項目については、マスタ設定にてマークや線色の変更が可能であり、グラフの隅に凡例表示可能であること。
3-20	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	イベント情報に関しては、予めマスタ設定された分類に応じたイベントの選択が可能であり、時系列データにはイベントマークが表示可能であること。
3-21	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	予め複数のイベントをセット化する機能を有すること。また、セット選択時に、その中から任意のイベントを選択対象外とする機能を有すること。セット展開することで、イベント入力ランチャーにセット化されたイベントがボタン化して展開され、各イベントボタンをクリックすることで、該当イベント記録が入力可能であること。
3-22	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	挿管等の付帯的な情報入力が必要なイベントに関しては、マスタからイベントを選択すると同時に、付帯情報入力が合わせて可能であること。
3-23	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	付帯情報の入力は、イベントに応じた内容がマスタから選択もしくは直接入力可能であり、入力された内容はタイムラインで確認可能であること。
3-24	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	時系列画面でイベントマークにマウスカーソルを合わせることで、入力した付帯情報がポップアップ表示され、確認できること。
3-25	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	付帯情報入力については、一度に全ての入力をしないでも、後からの追加・修正入力が可能であること。
3-26	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	イベントはマスタからの選択方式だけでなく、ワープロによる簡易的な記録入力も可能であること。
3-27	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	ワープロイベントを入力した際には、時系列画面にはイベント番号が表示され、その内容はタイムラインで確認が可能であること。
3-28	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	イベント情報の中でも、気腹開始・終了などのように開始と終了が対になるイベントの場合、麻酔チャートの確定保存タイミングで入力整合性チェックをおこない、記載不備が存在する場合に入力者へ通知する機能を有すること。
3-29	麻酔記録システム	チャート記録	イベント	イベント情報の中でも、特に入力頻度の多いイベントについては、キーボードファンクションキーのホットキー入力へ割り当てる機能を有すること。
3-30	麻酔記録システム	チャート記録	輸液	輸液に関して、マスタ階層画面より薬品選択が可能であること。また、必要に応じて、部位情報を付与することができること。
3-31	麻酔記録システム	チャート記録	輸液	あらかじめ複数の輸液をセット化する機能を有すること。また、セット選択時に、その中から任意の輸液を選択対象外とする機能を有すること。
3-32	麻酔記録システム	チャート記録	輸液	輸液の時系列データ入力の方法は、一回量・残量・積算量などシステム設定で複数パターンの入力方法から選択可能であること。
3-33	麻酔記録システム	チャート記録	輸液	輸液情報に関しては、ボトル交換時には再度同一薬品を選択する操作は不要であり、ボトル交換操作によって、継続した線が表示可能であること。
3-34	麻酔記録システム	チャート記録	輸血・血液製剤	輸血に関しては、製剤種類による時系列データの入力が可能であること。
3-35	麻酔記録システム	チャート記録	OUT	OUTデータ（尿、出血、排液など）の時系列データ入力に関しては、入力画面に一回量（増分量）と積算量の入力項目が表示され、どちらかを一方を入力することで記録反映すること。
3-36	麻酔記録システム	チャート記録	OUT	OUTデータ（尿、出血、排液など）は時系列画面上に一回量（増分量）で表示するか積算量で表示するかを、システム設定で変更できる機能を有すること。
4	麻酔記録システム	共通情報		共通情報
4-1	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	リスクの登録が、ASA分類で可能であること。
4-2	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	術者、麻酔医、看護師の情報が手術予約情報から自動取得表示され、変更があった場合には追加及び修正入力が可能であること。
4-3	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	病名・術式に関して、手術予約情報から自動取得表示され、変更があった場合に変更入力が可能であること。
4-4	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	病名の入力に関しては患者個人病名として登録済の病名より選択可能であること。
4-5	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	術式の入力に関しては、手術予約情報から取得した情報をもとに文字列編集が可能であること。
4-6	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	時系列画面で登録されたイベント情報にもとづき、入室／退出時刻、麻酔開始／終了時刻、手術開始／終了時刻に関して所要時間が自動計算され、共通情報部へ表示されること。
4-7	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	時系列画面で登録された輸液、輸血／出血、尿のIN/OUTデータにもとづき、IN/OUTの水分バランスが自動計算され、共通情報部へ表示されること。
4-8	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	時系列画面で登録された体位変換イベントデータにもとづき、各体位ごとの時間が自動計算され、共通情報部へ表示されること。
4-9	麻酔記録システム	共通情報	手術情報	手術に関する共通情報として、術前、術中、退室時、術後などに関する情報入力が可能であること。入力項目についてはマスタにより設定が可能で、且つ入力方式については、リスト選択、数値入力、ワープロ入力が可能であること。
4-10	麻酔記録システム	共通情報	リマークス	タイムライン画面には、チャートエリアに入力されている、ガス・薬剤・イベント・呼吸・体位変換・輸血・輸液・OUTの情報が時間に表示可能であること。
4-11	麻酔記録システム	共通情報	リマークス	タイムライン画面にて、ガス・薬剤・イベント・呼吸・体位変換・輸血・輸液・OUTから、必要な項目のみフィルタして表示する機能を有すること。
5	麻酔記録システム	データ保存		データ保存
5-1	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	麻酔チャートに入力したデータはデータベースへ即保存されること。
5-2	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	一度保存されたデータを修正した場合には、その変更の履歴を管理し、歴を確認できる画面を有すること。
5-3	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	

5-4	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	麻酔チャートを使用している手術中であっても、病棟等から作成中の麻酔チャート画面を参照可能であること。
5-5	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	麻酔チャートのデータに関して、カルテの保存期間と同期間のデータ保存が可能であること。
5-6	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	
5-7	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	外来端末や医局など、各電子カルテ端末から麻酔チャート画面を起動し、麻酔記録の修正入力が可能であること。
5-8	麻酔記録システム	データ保存	データ保存	術中に看護師と医師が同一患者の麻酔チャートを別端末で起動し、それぞれが必要な記録入力を同時にできる機能を有すること。
6	麻酔記録システム	データ連携・出力		データ連携・出力
6-1	麻酔記録システム	データ連携・出力	手術実施連携	イベント情報に入力されている入室/退室、麻酔開始/終了、手術開始/終了の各種時間を電子カルテの手術実施機能に送信できる機能を有すること。
6-2	麻酔記録システム	データ連携・出力	手術実施連携	チャートエリアに入力されている酸素・ガス、注射薬剤、輸液のデータに関して、合計量を電子カルテの手術実施機能に送信できる機能を有すること。
6-3	麻酔記録システム	データ連携・出力	印刷出力	麻酔チャートの印刷機能は、以下の機能を有すること。・チャート(時系列情報)と非時系列情報を印刷できること。印刷前にどちらかのみ、両方を選択可能であること。・チャート(時系列情報)を印刷するときのスケールを標準・小・最小の3種類から選択可能であること。・チャート(時系列情報)の印刷したいエリアを指定可能であること。
6-4	麻酔記録システム	データ連携・出力	バイタルデータ出力	時系列画面のバイタルグラフに入力されたデータをファイル出力できる機能を有すること。
6-5	麻酔記録システム	データ連携・出力	JSAPIMS連携	日本麻酔科学会が運営する麻酔管理台帳システム(JSAPIMS)で取込み可能な連携ファイル出力機能を有すること。
7	麻酔記録システム	生体モニタ連携		生体モニタ連携
7-1	麻酔記録システム	生体モニタ連携	連携前提条件	
7-2	麻酔記録システム	生体モニタ連携	接続機能	モニタIDに相当するコードが基幹ベンダ指定のバーコード規格(CODE39)にて生体モニタ機器に貼付されている場合、患者リストバンドと生体モニタ機器に貼付されたバーコードを読み込み、患者と生体モニタの紐付けを実施する機能を有すること。
7-3	麻酔記録システム	生体モニタ連携	バイタル連携	生体モニタ管理システムより取込可能なデータについて、時系列画面のモニタデータエリア、もしくはバイタルグラフのいずれかに、自動取込する機能を有すること。
7-4	麻酔記録システム	生体モニタ連携	バイタル連携	生体モニタ管理システムより取込可能なパラメータについては、選択を行うことが可能な機能を有すること。
7-5	麻酔記録システム	生体モニタ連携	バイタル連携	生体モニタ管理システムより取込みを行った時系列データについて、チャートエリア上で修正または削除が可能であること。
7-6	麻酔記録システム	生体モニタ連携	バイタル連携	取込パラメータを途中から追加した場合、生体モニタ接続開始時間まで遡って、該当パラメータのデータが表示されること。
7-7	麻酔記録システム	生体モニタ連携	バイタル連携	取込まれたモニタデータは時系列画面上の表示間隔を変更できること。
7-8	麻酔記録システム	生体モニタ連携	外部医療機器連携	麻酔器や人工呼吸器、血液ガス分析装置のデータが生体モニタ管理システム経由で出力される場合、それらの数値データも取込み可能であること。
8	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧		麻酔チャート一覧
8-1	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	画面構成・表示	指定した日の実施前の手術予定情報、および記載中・記載済の麻酔チャートが同一の一覧上に表示されること。
8-2	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	画面構成・表示	患者カルテを選択状態であれば、該当患者にフィルタされた状態で麻酔チャート一覧を起動できる機能を有すること。
8-3	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	画面構成・表示	一覧上で選択した特定患者の全手術歴を一覧表示する機能を有すること。
8-4	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	画面構成・表示	手術申込診療科・手術申込病棟、手術スタッフの条件で一覧を絞込可能であること。
8-5	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	画面構成・表示	麻酔チャート一覧では、麻酔チャートの記録状態から手術の進行状況が把握可能であること。(入室前・入室・麻酔中・手術中・終了・麻酔終了・退室)
8-6	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	画面構成・表示	麻酔チャート一覧に表示されている患者の検査歴一覧・プロフィールビューアが起動できること。
8-7	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	緊急症例登録	緊急手術を想定し、手術予約オーダーが無い状態であっても、麻酔チャートを記録できる機能を有すること。
8-8	麻酔記録システム	麻酔チャート一覧	緊急症例登録	緊急手術や手術予定変更を想定し、記録済の麻酔チャートと手術予約の紐付けを、事後で割当て・変更できる機能を有すること。
9	麻酔記録システム	ステータスマニタ		ステータスマニタ
9-1	麻酔記録システム	ステータスマニタ	画面構成・表示	当日の手術の一覧が以下の2つのモードのいずれかで参照可能であること。・各手術室別に現在進行形の手術情報が参照できるモード・当日の全手術情報が参照できるモード
9-2	麻酔記録システム	ステータスマニタ	画面構成・表示	以下の項目を表示可能であること。また、マスタ設定により、表示項目・表示幅を変更できる機能を有すること。手術室 開始時刻 進行状況 終了予定 患者氏名 オーダ診療科 術式 執刀医 麻酔医 看護師 麻酔法
9-3	麻酔記録システム	ステータスマニタ	画面構成・表示	術式については、特定名称に対して一部マスキングや置換できる機能を有すること。